

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 木曜日	教室名	401
担 当 教 員	松良尚子 重松康之他 (臨床検査技師科教員)	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
病理学とは各種疾患の病気の発症や原因のメカニズムや症状を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(教科書)各担当者からの配布資料 検査に関する教材は図書室にも関連本が沢山置かれています。それらを参考に知識を深めてもらえたらと思います。 参考図書:言語聴覚士テキスト第4版						
《授業外における学習方法》						
配布資料を用いて復習を行い、検査からわかる情報と疾患をイメージ出来るようにしてください。						
《履修に当たっての留意点》						
検査内容を理解することで、医療を理解し、また、将来は他職種との連携を行うことに役立ててください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギー疾患について概要が説明できるようになる	配布資料	事前に教科書を読んで予習し、講義内で意味を確認し、授業後は復習をして内容理解に努める	
		各コマにおける授業予定	アレルギー疾患の成り立ち、種類、症状等			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳・血液循環系疾患について概要が説明できるようになる	配布資料 PC・プロジェクト	事前に教科書を読んで予習し、講義内で意味を確認し、授業後は復習をして内容理解に努める	
		各コマにおける授業予定	脳・血液循環系疾患の成り立ち、種類、症状等			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸・筋・神経系疾患について概要が説明できるようになる	配布資料 PC・プロジェクト	事前に教科書を読んで予習し、講義内で意味を確認し、授業後は復習をして内容理解に努める	
		各コマにおける授業予定	各疾患の成り立ち、種類、症状等			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症について概要が説明できるようになる。	配布資料、PC、プロジェクト	事前に教科書を読んで予習し、講義内で意味を確認し、授業後は復習をして内容理解に努める	
		各コマにおける授業予定	各疾患の成り立ち、種類、症状等			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍について概要が説明できるようになる	配布資料、PC、プロジェクト	事前に教科書を読んで予習し、講義内で意味を確認し、授業後は復習をして内容理解に努める	
		各コマにおける授業予定	各疾患の成り立ち、種類、症状等			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液疾患について概要が説明できるようになる	配布資料	事前に教科書を読んで予習し、講義内で意味を確認し、授業後は復習をして内容理解に努める
		各コマにおける授業予定	各疾患の成り立ち、種類、症状等		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモン・代謝異常疾患について概要が説明できるようになる	配布資料	事前に教科書を読んで予習し、講義内で意味を確認し、授業後は復習をして内容理解に努める
		各コマにおける授業予定	各疾患の成り立ち、種類、症状等		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎・泌尿器系の疾患について概要が説明できるようになる	配布資料	事前に教科書を読んで予習し、講義内で意味を確認し、授業後は復習をして内容理解に努める
		各コマにおける授業予定	各疾患の成り立ち、種類、症状等		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			